

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
精神医学と精神医療	通信 面接	162 6	秋葉 大輔 飯島 俊彦
【授業の目的・ねらい】 ① 精神疾患の分類を把握するとともに、主な疾患の症状、経過、治療方法などについて理解する。 ② 精神医療と人権擁護の歴史を学ぶとともに、精神保健福祉法における精神科病院の入院形態や医療観察法について理解し、その中での精神保健福祉士の役割と法制度の課題を理解する。 ③ 精神科病院等においてチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割を理解する。 ④ 早期介入、再発予防や地域生活の支援等における地域の多職種連携・多機関連携における精神保健福祉士の役割について理解する。			
【授業内容の概要】 ① 精神疾患総論 ② 精神疾患の治療 ③ 精神医療の動向 ④ 精神科病院等医療機関における治療 ⑤ 精神医療と保健、福祉の連携の重要性			
【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座1 精神医学と精神医療(中央法規出版)		【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価とする	

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
現代の精神保健の課題と支援	通信 面接	162 6	渡部 裕一
【授業の目的・ねらい】 ① 現代の精神保健分野の動向と課題を理解する。 ② 精神保健の基本的考え方を理解する。 ③ 現代社会における精神保健の諸課題の実際を生活環境ごとに理解し、精神保健福祉士の役割について理解する。 ④ 精神保健の保持・増進と発生予防のための支援及び専門機関や関係職種の役割と連携について理解する。 ⑤ 国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する。			
【授業内容の概要】 ① 現代の精神保健分野の動向と基本的考え方 ② 家族に関連する精神保健の課題と支援 ③ 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ ④ 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ ⑤ 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ ⑥ 精神保健に関する発生予防と対策 ⑦ 地域精神保健に関する偏見・差別等の課題 ⑧ 精神保健に関する専門職種（保健師等）と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携 ⑨ 諸外国の精神保健活動の現状及び対策			
【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座2 現代の精神保健の課題と支援（中央法規出版）		【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価とする	

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
精神保健福祉の原理	通 信 面 接	162 6	若生 悟
【授業の目的・ねらい】 ① 「障害者」に対する思想や障害者の社会的立場の変遷から、障害者福祉の基本的枠組み（理念・視点・関係性）について理解する。 ② 精神保健福祉士が対象とする「精神障害者」の定義とその障害特性を構造的に理解するとともに、精神障害者の生活実態について学ぶ。 ③ 精神疾患や精神障害をもつ当事者の社会的立場や処遇内容の変遷を踏まえ、それに対する問題意識をもつ価値観を体得する。 ④ 精神障害者へのかかわりについて、精神医学ソーシャルワーカーが構築してきた固有の価値を学び、精神保健福祉士の存在意義を理解して職業的アイデンティティの基礎を築く。 ⑤ 現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解する。 ⑥ 精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解する。 ⑦ 近年の精神保健福祉の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解する。			
【授業内容の概要】 ① 障害者福祉の理念 ② 「障害」と「障害者」の概念 ③ 社会的排除と社会的障壁 ④ 精神障害者の生活実態 ⑤ 「精神保健福祉士」の資格化の経緯と精神保健福祉の原理と理念 ⑥ 「精神保健福祉士」の機能と役割			
【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座5 精神保健福祉の原理(中央法規出版)		【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価とする	

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
ソーシャルワークの理論と方法	通信 面接	162 6	若生 悟 武山 和弘
【授業の目的・ねらい】 ① 人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。 ② ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。 ③ ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。 ④ コミュニティワークの概念とその展開について理解する。 ⑤ ソーシャルワークにおけるスーパービジョンについて理解する。			
【授業内容の概要】 ① 人と環境との交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク ② ソーシャルワークの実践モデルとアプローチ ③ ソーシャルワークの過程 ④ ソーシャルワークの記録 ⑤ ケアマネジメント ⑥ 集団を活用した支援 ⑦ コミュニティワーク ⑧ スーパービジョンとコンサルテーション			
【教科書】 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 12 ソーシャルワークの理論と方法[共通科目] (中央法規出版)		【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価とする	

令和7年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
ソーシャルワークの理論と方法 (専門)	通信 面接	162 6	若生 悟
【授業の目的・ねらい】 ① 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人に対するソーシャルワークの過程を理解する。 ② 精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法を理解する。 ③ 精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解する。 ④ 精神保健福祉士と所属機関の関係を踏まえ、組織運営管理、組織介入・組織活動の展開に関する概念と方法について理解する。 ⑤ 個別支援からソーシャルアクションへの実践展開をミクロ・メゾ・マクロの連続性・重層性を踏まえて理解する。 ⑥ 精神保健福祉分野以外における精神保健福祉士の実践展開を理解する。			
【授業内容の概要】 ① 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの概要 ② 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程 ③ 精神保健福祉分野における家族支援の実際 ④ 多職種連携・多機関連携（チームアプローチ） ⑤ ソーシャルアドミニストレーションの展開方法 ⑥ コミュニティワーク ⑦ 個別支援からソーシャルアクションへの展開 ⑧ 関連分野における精神保健福祉士の実践展開			
【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座6 ソーシャルワークの理論と方法[精神専門]（中央法規出版）		【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価とする	

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
精神障害リハビリテーション論	通信 面接	81 3	若生 悟
【授業の目的・ねらい】 ① 精神障害リハビリテーションの概念とプロセス及び精神保健福祉士の役割について理解し、援助場面で活用できる。 ② 精神障害リハビリテーションプログラムの知識を援助場面で活用できる。 ③ 精神障害リハビリテーションの実施機関と精神障害リハビリテーションプログラムの関連について理解し、援助場面で活用できる。			
【授業内容の概要】 ① 精神障害リハビリテーションの理念、定義、基本原則 ② 精神障害リハビリテーションの構成及び展開 ③ 精神障害リハビリテーションプログラムの内容と実施機関 ④ 精神障害リハビリテーションの動向と実際			
【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座3 精神障害リハビリテーション論(中央法規出版)		【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価とする	

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
精神保健福祉制度論	通信 面接	81 3	若生 悟
【授業の目的・ねらい】 ① 精神障害者に関する法制度の体系について理解する。 ② 精神保健福祉法、医療観察法等の医療に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ③ 生活支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ④ 生活保護制度や生活困窮者自立支援制度等の経済的支援に関する制度の概要と課題、制度に規定されている精神保健福祉士の役割について理解する。 ⑤ 障害者に関する法制度を適切に活用でき、法制度の限界と課題について考えることができる。			
【授業内容の概要】 ① 精神障害者に関する制度・施策の理解 ② 精神障害者の医療に関する制度 ③ 精神障害者の生活支援に関する制度 ④ 精神障害者の経済的支援に関する制度			
【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座4 精神保健福祉制度論(中央法規出版)		【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価とする	

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
ソーシャルワーク演習（専門）	通信 面接	243 9	若生 悟

【授業の目的・ねらい】

- ① 精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人の状況や困難、また希望を的確に聞き取り、とりまく状況や環境を含めて理解してソーシャルワークを展開するための精神保健福祉士の専門性（知識、技術、価値）の基礎を獲得する。
- ② 精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための諸制度、サービスについて、その概念と利用要件や手続きを知り、援助に活用できる。
- ③ 精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人のための関係機関や職種の役割を理解し、本人を中心とした援助を展開するチームが連携する際のコーディネート役を担える。
- ④ 精神疾患や精神障害、精神保健の課題のある人を取り巻く環境や社会を見渡し、こうした人々への差別や偏見を除去し共生社会を実現するための活動を精神保健福祉士の役割として認識し、政策や制度、関係行政や地域住民にはたらきかける方法をイメージできる。
- ⑤ 精神保健福祉士として考え、行動するための基盤を獲得し、職業アイデンティティを構築する意義を理解する。

【授業内容の概要】

以下の①から④に掲げる事項を組み合わせた精神保健福祉援助の事例（集団に対する事例を含む。）を活用し、精神保健福祉士としての実際の思考と援助の過程における行為を想定し、精神保健福祉の課題を捉え、その解決に向けた総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。すべての事例において、精神保健福祉士に共通する原理として「社会的復権と権利擁護」「自己決定」「当事者主体」「社会正義」「ごく当たり前の生活」を実践的に考察できるようにする。

①領域

- ・医療機関 ・障害福祉サービス事業所 ・行政機関 ・社会福祉協議会
- ・高齢者福祉施設 ・教育機関 ・司法 ・産業、労働 ・児童
- ・合議体 ・その他

②課題

- ・社会的排除、社会的孤立 ・受診・受療、課題発見 ・退院支援、地域移行支援
- ・地域生活支援 ・自殺対策 ・ひきこもり支援 ・児童虐待への対応
- ・アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存等の予防や回復
- ・家族支援 ・就労（雇用）支援 ・職場ストレス、リワーク支援
- ・貧困、低所得、ホームレス支援
- ・災害被災者、犯罪被害者支援、触法精神障害者支援

・その他

③法制度・サービス

- ・精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
- ・障害者基本法、障害者総合支援法
- ・障害者差別解消法、障害者虐待防止法
- ・医療観察法
- ・生活保護制度、障害年金制度、各種手当
- ・障害者雇用促進法、労働安全衛生法
- ・介護保険法、老人福祉法、高齢者虐待防止法
- ・児童福祉法、児童虐待防止法
- ・アルコール健康障害対策基本法
- ・刑の一部執行猶予制度、覚せい剤取締法等
- ・自殺防止対策基本法
- ・当事者活動
- ・その他

④援助技術

- ・ソーシャルワークの過程を通じた援助
- ・個別面接
- ・グループワークの展開
- ・ケア会議や関係者会議のコーディネートとマネジメント
- ・リハビリテーションプログラムの実施
- ・アウトリーチ、コミュニティソーシャルワークの展開
- ・社会福祉調査の実施、計画策定、評価、資源創出、政策提言
- ・普及啓発活動、人材育成
- ・記録
- ・その他

【教科書】

最新 精神保健福祉士養成講座7
ソーシャルワーク演習[精神専門]（中央法規出版）

【認定の方法】

出席及び課題レポートによる総合評価とする

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
ソーシャルワーク実習指導	通信 面接	243 9	若生 悟

【授業の目的・ねらい】

- ① ソーシャルワーク（精神保健福祉士）実習の意義について理解する。
- ② 精神疾患や精神障害のある人のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。
- ③ ソーシャルワーク（精神保健福祉士）実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉士が行うソーシャルワークに係る知識と技術について具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得する。
- ④ 精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。
- ⑤ 具体的な実習体験を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。

【授業内容の概要】

- ① ソーシャルワーク実習とソーシャルワーク実習指導における個別指導及び集団指導の意義
- ② 精神保健医療福祉の現状（利用者理解を含む。）に関する基本的な理解
- ③ 実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的な理解
- ④ 精神疾患や精神障害のある当事者の語りに触れる体験
- ⑤ 現場体験学習及び見学実習
- ⑥ 実習先で必要とされる精神保健福祉士としてのソーシャルワークに係る専門的知識と技術に関する理解
- ⑦ 精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解
- ⑧ 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解（精神保健福祉士法及び個人情報保護法の理解を含む。）
- ⑨ 「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法に関する理解
- ⑩ 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成
- ⑪ 巡回指導（訪問指導、スーパービジョン）について
- ⑫ 実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成
- ⑬ 実習の評価全体総括会

【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[精神 専門]（中央法規出版）	【認定の方法】 出席及び課題レポートによる総合評価と する
---	---

令和 7 年度 精神保健福祉士養成通信課程 シラバス

科 目 名	授業形態	時間数	授業担当者
ソーシャルワーク実習	実習	210	若生 悟

【授業の目的・ねらい】

- ① ソーシャルワーク実習を通して、精神保健福祉士としてのソーシャルに係る専門的知識と技術の理解に基づき精神保健福祉現場での試行と省察の反復により実践的な技術等を体得する。
- ② 精神疾患や精神障害、メンタルヘルスの課題をもつ人びとのおかれている現状に関する知識をもとに、その生活実態や生活上の課題についてソーシャルワーク実習を行う実習先において調査し具体的に把握する。
- ③ 実習指導者からのスーパービジョンを受け、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。
- ④ 総合的かつ包括的な地域生活支援と関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

【授業内容の概要】

① 精神科病院等医療機関における実習

- ア 受診前や入院時又は治療中の患者及びその家族への相談援助
- イ 退院又は地域移行・地域定着支援に向けた、患者及びその家族への相談援助
- ウ 日常生活や社会生活上の問題に関する、患者及びその家族への相談援助
- エ 入院患者、外来患者及びそれらの家族への多職種連携による支援
- オ 関係機関・団体及び地域住民との連携を通じたソーシャルワーク

② 精神科病院等医療機関・障害者施設等における実習

- ア 利用者やその関係者、施設・機関・事業者・団体・住民やボランティア等との基本的なコミュニケーションや人との付き合い方などの円滑な人間関係の形成
- イ 利用者理解と相談支援ニーズの把握及び相談支援計画の作成
- ウ 利用者やその関係者（家族・友人・近隣住民等）との相談支援関係の形成
- エ 利用者やその関係者（家族・友人・近隣住民等）への権利擁護及び相談支援（エンパワメントを含む。）とその評価
- オ 精神医療・保健・福祉に係る多職種連携をはじめとする相談支援におけるチームアプローチへの参加
- カ 精神保健福祉士としての職業倫理と法的義務の意味の考察と遵守
- キ 施設・機関・事業者・団体等の職員の就業などに関する規定の遵守と組織の一員としての役割と責任への自覚
- ク 施設・機関・事業者・団体等の経営やサービスの管理運営の観察

ケ 当該実習先が地域社会で果たす役割の考察と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発場面の観察 コ 実習先施設・機関や所属地域における精神保健福祉向上のための課題発見と政策提言に関する考察 サ 実習体験及び学習成果の考察と記述、プレゼンテーション実習総括と精神保健福祉士としての学習課題の明確化、及び研鑽計画の立案 ③ 実習体験と考察を記録し、実習指導者によるスーパービジョンと、ソーシャルワーク実習指導担当教員による巡回指導等を通して、実習事項について指導を受けること。	
【教科書】 最新 精神保健福祉士養成講座8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[精神専門]（中央法規出版）	【認定の方法】 実習指導者の評価及び実習生本人の自己評価を総括し、総合的に評価する